

平成29年度大阪府立伯太高等学校学校協議会 第1回議事録

平成29年6月10日(土) 10:00～12:00

記録:楠本

協議会委員参加者

西田 芳正 (大阪府立大学人間社会学部教授)
松井 昭浩 (和泉市立和泉中学校長)
木村 朋子 (PTA会長)
田中 恒子 (地域教育相談員)

- (1) 校長挨拶
- (2) 委員・校内事務局紹介・会長選出
- (3) 平成29年度学校経営計画 (河合校長)
- (4) 校内授業見学
- (3) 会長選出
- (5) 本校教員による生徒状況、校内体制等の報告

総合学科について

- ① カリキュラム (楠本首席)
- ② 生徒ガイダンス関係 (北野教諭)
- ③ 授業「産業社会と人間」 (東首席)
- ④ 総合学科1年生(40期生)の状況 (松山教諭)

- (6) 平成30年度使用教科書について
- (7) 意見交換
- (8) 校長謝辞

[主な質問、意見等]

○は質問、 →は答え、 ●は意見や感想

- 野球部の人数は何人か。
→ この4月から野球同好会から野球部になった。人数は9人。
- 実施している朝学習の内容は中学校レベルの確認か。
→ その通り。朝学習のシステムはできたが、中身を充実させないといけない。
- 朝学習は生徒によって進み具合が違うのか。
→ 個々の生徒によって違う。
- 朝学習の内容は、生徒によっては物足りないのではないか。
→ その通り。内容の検討も必要だ。

- 中学校での朝学習はどうか。
 - 先生方にいろいろな種類のプリントを用意していただいたことがある。定期テストに朝学習の内容を出してほしい。
- 朝学習で1年生が使用している冊子は点検しているのか。
 - 定期的に点検している。朝学習の時間は、副担任もHR教室に入ってフォローしている
- 中学校では、朝の時間の内容は学年によって違うのか。
 - 1, 2年生は朝読書、3年生は朝学習をやっている。
- 中学校では、スクールカウンセラーはどのくらいの割合で来るのか。
 - 週に1回ぐらい。
- 個別に支援が必要な生徒について、大学では体制ができています。それぞれの生徒に対して、ていねいに対応している。
- 人権教育について、学ぶ内容が人権教育一般の話になってきて、若い世代も含めて個々の人権課題について学ぶ機会が少なくなっている。
- 系列は進路先との関係をどのくらい考えて作ったのか。
 - 伯太生の今までの進路先を調べ、それを基に進路先を考えて系列を作った。
 - 今まで進路先についてミスマッチが起こっていた。将来についてのミスマッチを減らすには総合学科がよい。意識的に系列を見据えながら、試行錯誤しながら科目選択をしていくことになる。でも、自分が将来何をしたいのかわからない生徒に科目選択をさせるのはなかなか難しい。
- ビジネス・観光系列では、地元に関するような科目を設定するのがよいのではないかと思う。
- 今までに比べて、学校に目を向ける、学校を思う生徒が多くなってきたように思う。しかし、まだまだ課題がある。